

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2025年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	デッサンⅢ				科目コード	D0510A1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	岡 栄子	履修グループ	2J(DG/DW/MA)				授業方法	演習		
実務経験の内容	美術大学卒業後ジュエリーデザイナーの仕事を中心に、テキスタイルや紙媒体のDM制作等、多種多様なデザイン業務に携わる。 デッサン・色彩やジュエリーの講師業を経験、企画製品および完全オーダーの逸品を数多く手掛ける。 これまでの様々な実務経験を軸に、表現の基礎となるデッサン指導を行う。									
学習一般目標	モノを丁寧によく見ることで、観察眼、集中力を養い、多角的な捉え方を身につける。 三次元のを二次元でどう扱えばいいのかわかる。 ポートフォリオに載せるレベルの作品を描く。									
授業の概要および学習上の助言	デッサンはまず観察することから始まります。 興味が「ある」「無い」に関わらず、対象がなにであっても必ず必要になってくるスキルでもあります。 木を見て森を見ずという言葉がありますが、どちらに偏ってもバランスよく進みません。 木、森、また木に戻るというように繰り返し距離感を変えながら観察し、手を動かしてみる。 デッサンは「描く」というだけではなく、自分の日常生活に置き換えることもできる行動だと捉えると面白いのではないのでしょうか。									
教科書および参考書	『基礎から学ぶ鉛筆デッサン』 誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』マール社 必要に応じてプリント配布									
履修に必要な予備知識や技能	基本のデッサン用具とシラバスにある持ち物は各自確認・用意すること。 鉛筆は削っておき、大前提として持ち物は忘れず準備しておくこと。 道具が揃って内容がよければパフォーマンスアップにつながります。									
使用機器	鉛筆(推奨:3H、H、HB、B、3B 各1本)、練消しゴム、普通のケシゴム、カッターナイフ、スケール、目玉クリップ(必要であれば) 削りカス入れ簡易ゴミ箱、クロッキー帳 ※課題内容によっては水彩絵の具									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が到達すべき行動目標							
	1		空間表現の基本、遠近法を理解し形状を把握することができる。							
	1		鉛筆を使った陰影表現により、立体感を表現できる。							
	1		骨格や人体構造を理解し、人物表現ができる。							
	1		素描材料の使用法を理解し、効果について工夫しながら、自分らしい表現をすることができる。							
	1		講義と実習において、意欲を持って取り組むことができる。							
達成度評価	評価方法		試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計
	学部DP	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	

	総合評価割合					80		20	100
評価の要点									
評価方法		評価の実施方法と注意点							
試験									
小テスト									
レポート									
成果発表(口頭・実技)									
作品		授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度・完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意すること。							
ポートフォリオ									
その他		授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、提出点数と出席状況。							

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 【立方体】一合枘・木片・レンガ	講義・実習	
第2回	【円柱】マグカップ(直線的なもの)・ガムテープ芯他	講義・実習	マグカップor描きたい筒状モチーフがあれば持参(直線的なもの)
第3回	【遠近法の知識】 透視図法 【人物クロッキーについて】 人物スケッチ 人体骨格の把握と理解	講義・実習	教科書『アーティストのための美術解剖学』マール社
第4回	【風景スケッチ】	講義・実習	レジャーシート・帽子・水筒他 ※必ず描いている風景の写真を撮影すること。 →課題解決型授業②で完成
第5回	【着彩】ピーマン・紙風船 水彩絵の具の特性、混色	講義・実習	透明水彩絵の具、デッサン、 両方の用具持参 ※スポイトあれば便利
第6回	【モチーフ①細密】靴 1/2	講義・実習	自身の靴(紐靴)を持参 ※シンブルなものは不可
第7回	続き【モチーフ①細密】靴 2/2	講義・実習	前回に続き同じ靴を持参
第8回	【人物スケッチ】 モデル(予定)	講義・実習	
第9回	【複数モチーフ】 サザエ・石膏・その他 複数モチーフ 1/3	講義・実習	

第10回	続き【複数モチーフ】 2/3	講義・実習	
第11回	続き【複数モチーフ】 3/3	講義・実習	
第12回	【モチーフ②:選択】 <石こう(足・手)、靴、サザエ 他> 1/2	講義・実習	
第13回	続き【モチーフ②:選択】 <石こう(足・手)、靴、サザエ 他> 2/2	講義・実習	
第14回	課題解決型授業① 【人物をクロッキー】 10体以上(着服で可)	実施期間:2期(6/1- 6/15)	
第15回	課題解決型授業② 続き【風景スケッチ】 前回提出時よりも描きこみ、完成度を高めること	実施期間:4期(7/1- 7/15)	